

1 ごみ処理の概要

ごみ排出の状況:ごみ総排出量は微減、1人1日当たりのごみ排出量は横ばい。

ごみ総排出量 387,986 トン(前年度 397,394 トン) [2.4 % 減]
 1人1日当たりのごみ排出量 956 グラム(前年度 973 グラム) [17 グラム 減]

ごみ処理の状況:

総資源化量(再生利用量) 66,116 トン(前年度 68,328 トン) [3.2 % 減]
 中間処理による再生利用量 33,053 トン(前年度 33,084 トン) [0.1 % 減]
 最終処分量 43,930 トン(前年度 47,677 トン) [7.9 % 減]
 リサイクル率 17.1%(前年度 17.2%) [0.1 ポイント減]

最終処分場の状況:残余容量は、減少傾向。

残余容量 約 1,011 千m³(前年度 約 1,072 千m³) [5.7 % 減]

(1) ごみの排出量

区分	P27ロー図 との対応	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人口(人)	-	1,142,864	1,136,360	1,128,454	1,119,318	1,112,034
計画収集人口	-	1,142,852	1,136,348	1,128,444	1,119,308	1,112,034
自家処理人口	-	12	12	10	10	0
ごみ総排出量(t)	-	404,061	403,721	405,934	397,394	387,986
計画収集量	A	352,343	348,409	347,733	341,518	332,865
直接搬入量	B	49,485	53,012	55,908	53,683	52,775
集団回収量	C	2,233	2,300	2,293	2,193	2,346
1人1日あたりのごみ排出量(g)	-	969	973	983	973	956
最終処分量(t)	M	50,665	52,192	49,729	47,677	43,930
直接最終処分量	D	2,276	2,483	3,308	2,463	2,418
焼却残さの埋立量	K	33,367	35,086	38,568	37,219	35,052
中間処理残さの埋立量	H	15,022	14,623	7,853	7,995	6,460
中間処理量(t)	-	379,794	376,474	378,146	374,051	363,962
焼却処理量	J	306,336	307,997	318,436	312,893	304,369
直接焼却量	E	288,774	293,492	304,118	298,903	290,617
中間処理残さの焼却量	I	17,562	14,505	14,318	13,990	13,752
焼却以外の中間処理量	F	73,458	68,477	59,710	61,158	59,593
粗大ごみ処理施設の処理量	-	3,668	3,497	3,646	3,596	3,273
その他資源化等を行う施設の処理量	-	55,667	48,508	40,125	41,734	41,325
その他施設の処理量(埋立のための破碎・減溶化等)	-	14,123	16,472	15,939	15,828	14,995
総資源化量(t)	N	76,832	74,091	71,848	68,328	66,116
市町村による資源化量	-	74,599	71,791	69,555	66,135	63,770
中間処理後の再生利用量	L	35,951	33,815	32,166	33,084	33,053
直接資源化量	G	38,648	37,976	37,389	33,051	30,717
集団回収量	C	2,233	2,300	2,293	2,193	2,346
自家処理量(t)	-	291	273	255	231	213
リサイクル率(%)	-	19.0 %	18.3 %	17.7 %	17.2 %	17.1 %

- (注) ・ ごみ総排出量 = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量
 ・ 人口は各年度における10月1日現在の住民基本台帳人口。
 ・ 集団回収量とは、市町村による用具の貸出や補助金の交付等で市町村に登録された住民団体によって回収された量のこと。
 ・ 1人1日あたりのごみ排出量(g) = ごみ総排出量(t) ÷ 計画処理収集人口 ÷ 365日又は366日 × 10⁶
 ・ リサイクル率 = (市町村資源化量 + 集団回収量) ÷ (ごみ処理量 + 集団回収量) × 100
 ・ ごみ処理量 = 直接焼却量 + 焼却以外の中間処理量 + 直接最終処分量 + 直接資源化量

① ごみ処理のフロー

一般廃棄物は、市町村等により計画的に収集されるものと、住民から市町村等の施設に直接持ち込まれるものがあります。これらの一般廃棄物の処理は、そのまま直接資源として利用されるもの、焼却や破碎などの中間処理を経て資源化されるもの、中間処理を経て最終処分されるもの、収集後そのまま最終処分されるものに分かれます。それぞれの処理量は次のとおりです。

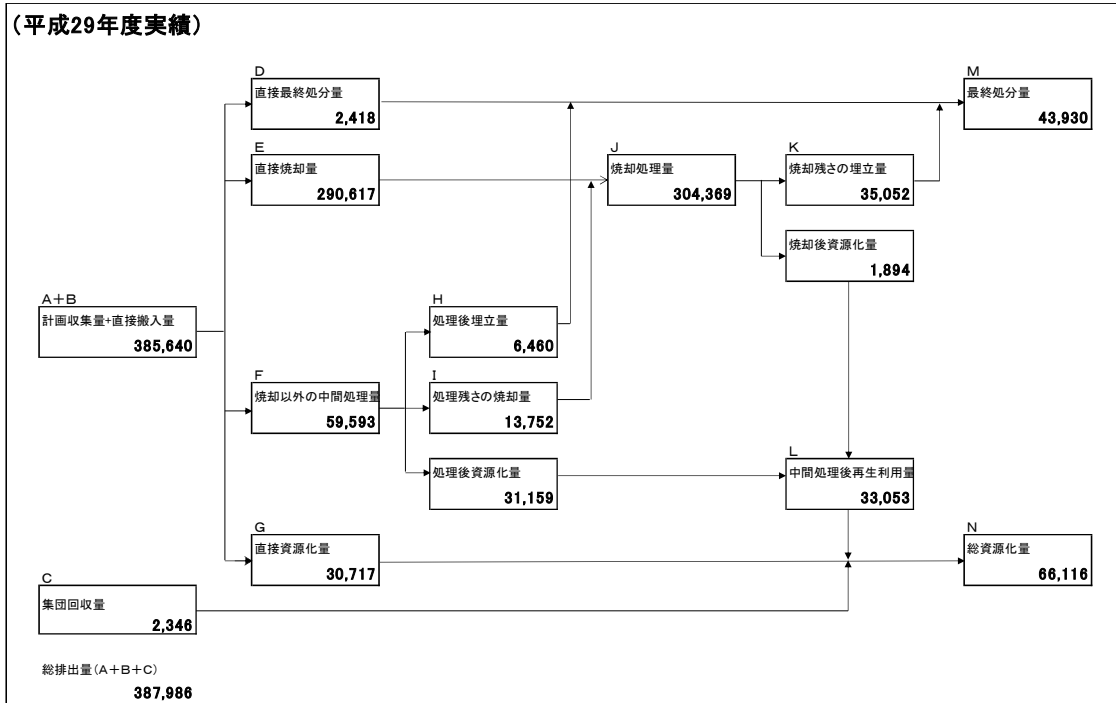


図 1 ごみ処理のフロー

② ごみの排出量

ごみ総排出量は、台風により大量の災害廃棄物が発生した平成 17 年度を除いて、平成 11 年度以降減少傾向で推移しており、平成 29年度は、前年度と比較して約 2.3%減少しています。

1人1日あたりの排出量は956gで、前年度から17g減少していますが、全国値(920g)と比較すると、36g 多い値となっています。

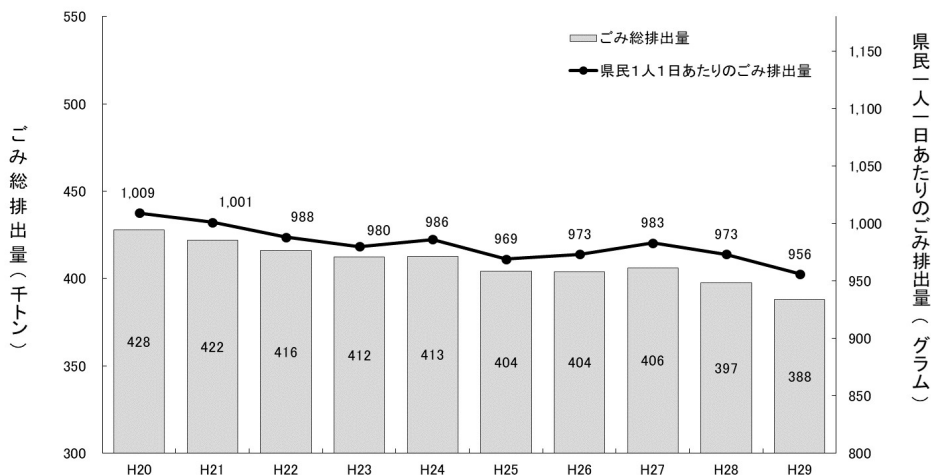


図 2 ごみ総排出量と県民1人1日あたりのごみ排出量の推移

③ 地区別ごみ排出状況

平成 29 年度の県内 7 地区毎の 1 人 1 日あたりのごみ排出量とリサイクル率は次のとおりです。

ごみ排出量が最も少ない地区は西諸県地域の 635 g/人・日で、最も多いのは都城・北諸県地域の 1,209g/人・日です。リサイクル率については、西諸県地区が最も高く 27.7%、最も低いのは、延岡・西臼杵地区の 13.3%となっています。

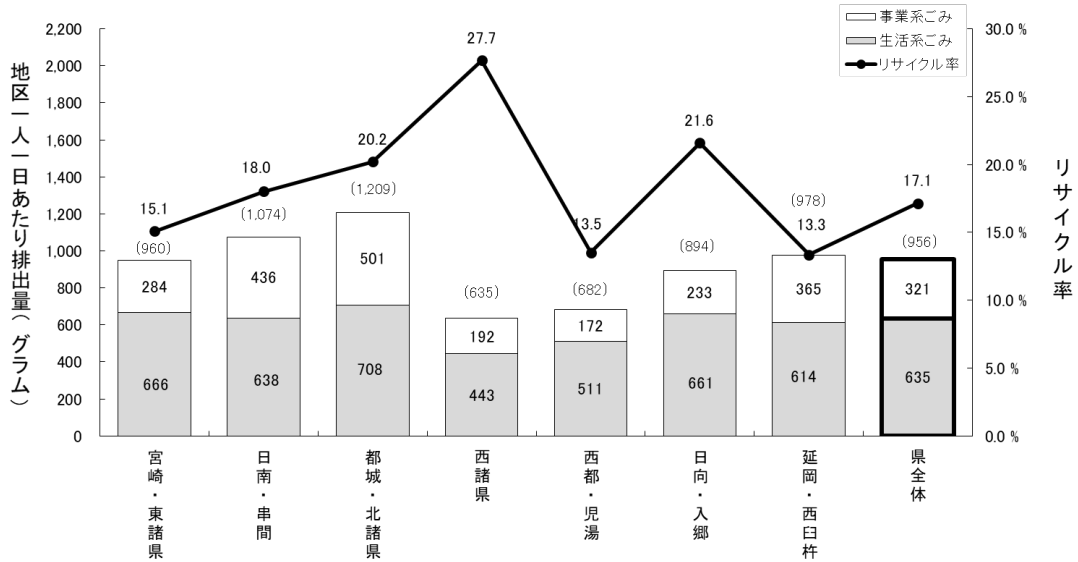


図 3 地区別の 1 人 1 日あたりのごみ排出量及びリサイクル率

(2) ごみ処理による減量化とリサイクル

平成 29 年度の市町村等による資源化量と住民団体等による集団回収量を合わせた総資源化量は 66,116 トンで、前年度と比較すると約 3.2%減少しました。

リサイクル率は、前年度と比較して 0.1 ポイント低下し 17.1%となっています。本県のリサイクル率は、全国値 (20.2%) と比較すると 3.1 ポイント低くなっています。

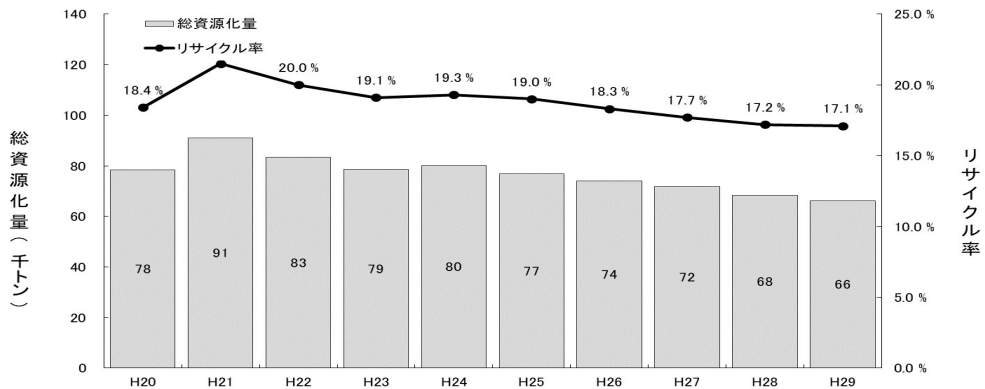


図 4 総資源化量とリサイクル率の推移

(3) 最終処分状況

平成 29 年度の最終処分量は 43,930 トンで、前年度と比較すると約 7.9% (3,747 トン) 減少しました。

市町村及び一部事務組合等が設置し、平成 29 年度末現在埋立を行っている最終処分場は 17 施設で、全ての施設の残余容量の合計は約 1,011 千 m^3 です。仮に、平成 29 年度最終処分量が今後続くとした場合、最終処分の残余年数は、約 18.8 年となります。(埋立ごみ比重を 0.8163 とした場合)

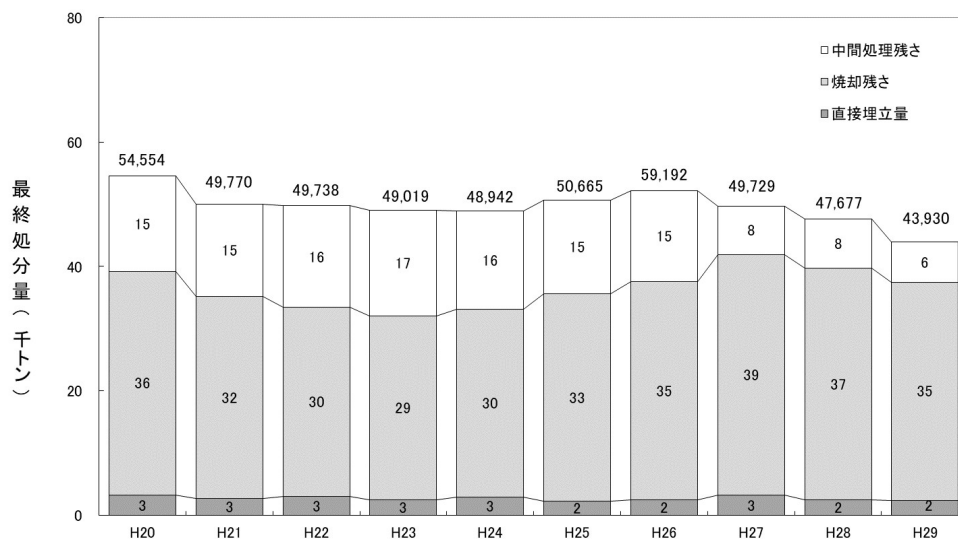


図 5 最終処分量の推移

(4) ごみ処理事業経費

平成 29 年度の市町村及び一部事務組合等のごみ処理に要する経費(建設改良費を除く)は約 128 億円で、直近 8 年間ではほぼ横ばいとなっています。県民一人あたりに換算すると 11,485 円、ごみ 1 トンあたりに換算すると約 33,317 円となります。

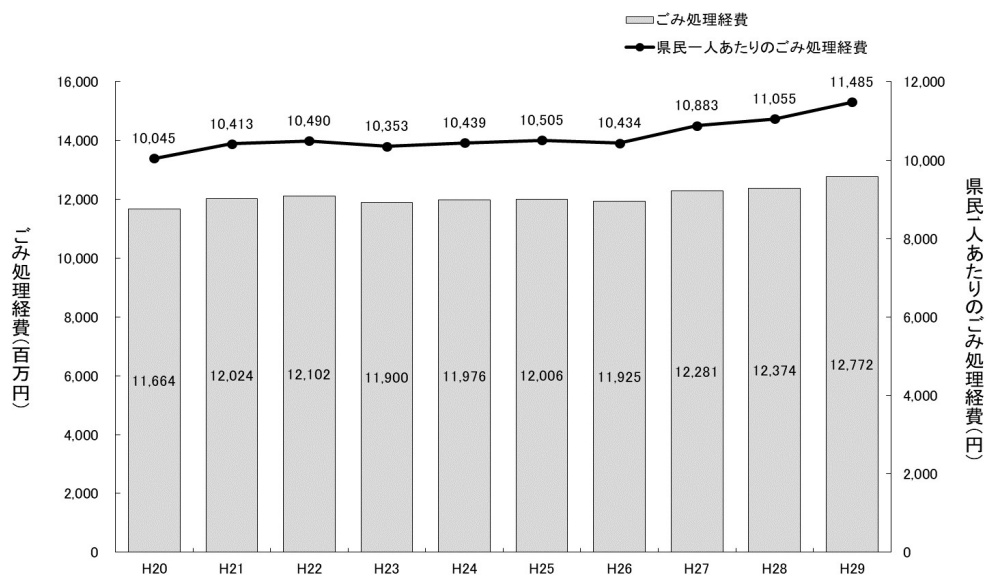


図 6 市町村等のごみ処理事業経費(建設改良費を除く)と
県民一人あたりのごみ処理事業経費の推移